

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月14日  
東

上場会社名 株式会社RVH 上場取引所  
 コード番号 6786 URL <https://rvh.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 佑一  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 福重 亮 (TEL) 03-6277-8031  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	449	△96.8	△173	—	△159	—	△5,019	—
2020年3月期第1四半期	14,040	△6.5	△6	—	29	—	△634	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △5,023百万円( —%) 2020年3月期第1四半期 △636百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△259.66	—
2020年3月期第1四半期	△32.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,862	2,081	35.5
2020年3月期	78,875	7,104	9.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 2,081百万円 2020年3月期 7,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点では合理的な算定が困難であることから、未定とさせていただきます。今後業績予想の合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) - 、除外 2社(社名) 株式会社ミュゼプラチナム  
 株式会社不二ビューティ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	19,330,560株	2020年3月期	19,330,560株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	600株	2020年3月期	600株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	19,329,960株	2020年3月期1Q	19,329,960株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う4月の緊急事態宣言の発令や外出自粛要請等により、個人消費や企業活動が急速に減退し、厳しい状況で推移いたしました。5月には緊急事態宣言が解除されたものの、新型コロナウイルスの収束時期は見通せず、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、現状として当社グループの経営資源が限定されていることや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるコントロール不能な不確実性リスクの増大を回避するため、4月に株式会社ミュゼプラチナム及び株式会社不二ビューティの全株式を譲渡するとともに、6月に株式会社ラブリークィーンの全株式を譲渡し、より限定した事業分野に対する経営資源の集中投下や、当該分野又はその周辺領域への機動的なM&Aを推進することで当社グループの中長期的な企業価値の向上を目指す方針へ転換いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高449百万円(前年同期比96.8%減)、営業損失173百万円(前年同期は営業損失6百万円)、経常損失159百万円(前年同期は経常利益29百万円)、特別損益として、株式会社ミュゼプラチナムの株式譲渡に係る関係会社売却益356百万円、株式会社ラブリークィーンの株式譲渡に係る関係会社株式売却損451百万円及び債権放棄損742百万円を計上したことにより、税金等調整前四半期純損失1,042百万円(前年同期は税金等調整前四半期純損失296百万円)となり、法人税等合計額3,977百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失5,019百万円(前年同期は634百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、上記のとおり、当第1四半期連結会計期間において従来の「レディスサービス事業」セグメントに属する全子会社を第三者へ譲渡したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来の「その他事業」セグメントを再編し、「システム開発」及び「WEBサービス」の2区分に報告セグメントを変更しております。

#### 1) システム開発

システム開発セグメントでは、ITシステムや組込系システム、業務系システム等の受託開発、システムエンジニアリングやバックオフィスに関する人材派遣、PCデータ消去・リサイクル、医用画像表示ソフトウェアの販売等を行っております。

当セグメントは例年同様下期集中傾向の収益推移を見込んでおり、当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により社会全体でテレワークをはじめ働き方改革が急速に普及したことから、業務自動化・効率化に係る開発案件、環境整備に係る案件等の需要が増加した一方で、顧客のIT投資抑制や案件の延期等により一部新規案件の獲得が停滞したこと等により、売上高は236百万円(前年同期比7.2%増)となりました。利益面におきましては、新規事業としてIT機器のキitting事業を開始するための準備費用を計上したこと、緊急案件に係る外注費が増加したこと等から、セグメント損失32百万円(前年同期はセグメント損失24百万円)となりました。

#### 2) WEBサービス

WEBサービスセグメントでは、WEBマーケティングサービス、アプリ・ゲーム制作、WEBサイト企画制作等を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、当社グループ美容関連会社の譲渡に伴い一部広告案件が終了したこと、顧客の広告投資・開発投資見送りや案件の延期等により一部新規案件の獲得が停滞したこと等により売上高は213百万円(前年同期比70.3%減)となりました。利益面におきましては、人員配置の適正化等による人件費等のコストを抑制したこと、グループ外取引比率が増加したこと等により利益率が改善したものの、新規案件受注減を吸収するまでには至らず、セグメント損失4百万円(前年同期はセグメント損失17百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,514百万円(前連結会計年度末と比較して26,479百万円減)となりました。これは主に、レディスサービス事業セグメントに係る子会社株式を譲渡したことにより、受取手形及び売掛金が14,634百万円減少、未収入金が6,912百万円減少、商品及び製品が2,924百万円減少、現金及び預金が1,384百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は4,347百万円(前連結会計年度末と比較して46,534百万円減)となり、これは主に、レディスサービス事業セグメントに係る子会社株式を譲渡したことにより、のれんが24,553百万円減少、有形固定資産合計が7,906百万円減少、繰延税金資産が10,192百万円減少、投資その他の資産のその他が3,219百万円減少したこと等によるものであります。減少した有形固定資産のうち主なものは建物付属設備、工具備品、土地、減少したその他資産のその他のうち主なものは敷金及び保証金であります。

この結果、総資産は5,862百万円(前連結会計年度末と比較して73,013百万円減)となりました。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,585百万円(前連結会計年度末と比較して53,259百万円減)となりました。これは主に、レディスサービス事業セグメントに係る子会社株式を譲渡したことにより、前受金が45,966百万円減少、未払金が2,295百万円減少、短期借入金が2,075百万円減少、その他が3,028百万円減少した一方、未払法人税等が1,632百万円増加したこと等によるものであります。減少したその他のうち主なものは未払費用であります。

固定負債は195百万円(前連結会計年度末と比較して14,730百万円減)となり、これは主に、レディスサービス事業セグメントに係る子会社株式を譲渡したことにより、長期預り金が14,396百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は3,781百万円(前連結会計年度末と比較して67,989百万円減)となりました。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,081百万円(前連結会計年度末と比較して5,023百万円減)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が5,019百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済の先行きを見通すことが困難な状況が続くものと予想されます。当社グループの各事業においても、新規案件の提案等の営業活動に一部影響が発生しておりますが、新型コロナウイルス感染症の収束時期や再流行の可能性等の先行きが極めて不透明であることから、現時点で通期の連結業績予想を合理的に算定することは困難であると判断し、未定とさせていただきます。

今後、業績予想の合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,060	676
受取手形及び売掛金	15,031	396
商品及び製品	2,930	5
仕掛品	48	13
原材料及び貯蔵品	565	0
未収入金	6,916	4
短期貸付金	765	451
その他	1,981	55
貸倒引当金	△2,305	△87
流動資産合計	27,993	1,514
固定資産		
有形固定資産	7,920	14
無形固定資産		
のれん	24,628	74
その他	386	20
無形固定資産合計	25,014	95
投資その他の資産		
投資有価証券	1,480	1,463
長期貸付金	3,131	2,743
繰延税金資産	10,237	45
その他	3,301	81
貸倒引当金	△204	△96
投資その他の資産合計	17,946	4,237
固定資産合計	50,881	4,347
資産合計	78,875	5,862

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,126	127
短期借入金	2,101	25
1年内返済予定の長期借入金	147	50
未払金	2,514	219
未払法人税等	37	1,670
前受金	45,967	1
賞与引当金	196	0
返品調整引当金	138	—
ポイント引当金	80	—
預り金	1,427	1,411
その他	3,108	79
流動負債合計	56,844	3,585
固定負債		
長期借入金	282	186
長期預り金	14,396	—
退職給付に係る負債	191	1
その他	55	6
固定負債合計	14,925	195
負債合計	71,770	3,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,678	1,678
資本剰余金	7,520	7,520
利益剰余金	△2,098	△7,118
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,099	2,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	0
退職給付に係る調整累計額	7	—
その他の包括利益累計額合計	5	0
純資産合計	7,104	2,081
負債純資産合計	78,875	5,862

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	14,040	449
売上原価	2,346	383
売上総利益	11,694	66
返品調整引当金戻入額	251	—
返品調整引当金繰入額	221	—
差引売上総利益	11,723	66
販売費及び一般管理費	11,730	240
営業損失(△)	△6	△173
営業外収益		
受取利息	37	13
受取配当金	0	0
受取賃貸料	7	0
業務受託料	2	—
その他	16	3
営業外収益合計	63	18
営業外費用		
支払利息	22	3
その他	5	0
営業外費用合計	27	3
経常利益又は経常損失(△)	29	△159
特別利益		
関係会社株式売却益	—	356
その他	—	3
特別利益合計	—	359
特別損失		
固定資産除却損	2	3
減損損失	20	—
貸倒引当金繰入額	303	—
関係会社株式売却損	—	451
関係会社債権放棄損	—	742
その他	—	44
特別損失合計	326	1,241
税金等調整前四半期純損失(△)	△296	△1,042
法人税、住民税及び事業税	11	1,594
法人税等調整額	326	2,383
法人税等合計	337	3,977
四半期純損失(△)	△634	△5,019
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△634	△5,019



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△634	△5,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	2
退職給付に係る調整額	—	△7
その他の包括利益合計	△1	△4
四半期包括利益	△636	△5,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△636	△5,023

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	レディス サービス事業	システム開発	WEBサービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,770	217	52	14,040	—	14,040
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5	2	668	676	△676	—
計	13,776	220	720	14,717	△676	14,040
セグメント利益又は損失 (△)	31	△24	△17	△10	4	△6

(注) 1. セグメント損益の調整額4百万円には、セグメント間取引消去69百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△65百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「レディスサービス事業」セグメントでの事業譲受対価の変動により、当第1四半期連結累計期間において、のれんが385百万円増加しております。

また、「レディスサービス事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であった株式会社イナンナを、重要性が増したため連結の範囲に含めております。これに伴うのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において586百万円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	レディス サービス事業	システム開発	WEBサービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	—	236	213	449	—	449
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	0	0	0	△0	—
計	—	236	213	450	△0	449
セグメント損失(△)	—	△32	△4	△36	△137	△173

(注) 1. セグメント損益の調整額△137百万円には、セグメント間取引消去11百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△148百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、当社連結子会社である株式会社ミュゼプラチナム、株式会社不二ビューティ、株式会社ラブリーキーンの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことにより、レディスサービス事業セグメントののれんの金額が減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は24,545百万円であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来「レディスサービス事業」、「その他事業」として記載していた報告セグメントにつきましては、当第1四半期連結会計期間において「レディスサービス事業」セグメントに属する全子会社を第三者へ譲渡したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来の「その他事業」セグメントを再編し、「システム開発」及び「WEBサービス」の2区分に報告セグメントを変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。